

学籍番号：3117040 氏名：樋口大登（緑川研究室）

テーマ名：「見やすく動きのあるサークル用ホームページテンプレート作成」

1. 研究の目標（創作ゼミナールⅠでのテーマ発表時の目標との相違がある場合には、変更点と変更した理由も書いてください。）

- ・いろいろな動きやアニメーションの技法と視覚的な技法を合わせて見やすく飽きない web サイトを jQuery と JavaScript を使用し作成する。具体的にはフェードイン、フェードアウト、スライドショーなどを実装する。
- ・スマホやタブレット端末でも見られるようにレスポンシブ対応のページにする。
- ・最終的にテンプレートとして無料で公開したい。

2. 研究の概要（どのような問題意識で、どのような手法で、どのように研究を進めたか、目標のどこまでを達成できたのかなど、研究の流れを簡潔にまとめてください。）

ホームページのテンプレートを実際にダウンロードして、「どんな項目があるのか」「ダウンロードページはどうなっているのか」を調べていき、ホームページ全体のレイアウトを決めた。主に「ホーム」、「活動」、「紹介」、「イベント」、「リンク」、「お問い合わせ」の項目に分類し、HTML 言語を用いて各ページを作成した。スライドショーを CSS で実装した。

3. 研究成果（研究で得られた成果を簡潔にまとめてください。）

HTML 言語を使用して「ホーム」のページは形にはなったが、「活動」、「紹介」、「イベント」、「リンク」、「お問い合わせ」のページを作成することができなかった。「ホーム」のページにはスライドショーとマウスポインターを重ねると、徐々にテキスト色が変わるリンクを作成できた。

4. 結論（この研究で達成できたこと、達成できなかったこと、改良が必要なことなどを書いてください。）

ホームはある程度形にはなったが、ダウンロードページやその他の項目ページを作成できなかった。スライドショーを実装できたが jQuery をうまく使うことができず、CSS で作成した。テンプレートを2つ以上作り選択肢を増やしたい。レスポンシブデザインにすることができていない。

5. 考察と展望（研究の過程や成果を振り返って、研究の進め方について考えたこと、今後の研究の可能性などをまとめてください。）

見やすい配色と項目の配置を考慮しながら、実際に存在するホームページを参考に研究を進めた。今後は各項目の内容を充実させ、レスポンシブデザインのホームページを作成する必要がある。テンプレートの種類を増やしより多く利用してもらえようようにしたい。ダウンロード用のページを作成し、Google アナリティクスを用いてアクセス数を調べる。

6. 参考文献（書籍、論文、Web データの出典などの情報を書いてください。）

書籍

さわだえり(2013)「HTML&CSS レッスン&レッツトライ形式で基本が身につく」技術評論社

日経 BP コンサルティングウェブコンサルティング部「Google Analytics 完全解説」日経 BP コンサルティング

Web データ

Selectors - jQuery 日本語リファレンス

「<http://semooh.jp/jquery/api/selectors/>」

色の名前とカラーコードが一目でわかる Web 色見本

「<https://www.colordic.org/>」

無料ホームページテンプレート（全 1100 件） | Template Party

「<https://template-party.com/>」

HTML 入門

「<https://shoichimidorikawa.github.io/Lab/HTMLtutorial/tutorial.html>」

動く CSS のためのメモ。スライドショー

「<https://lopan.jp/css-animation-slideshow/>」

7. 研究履歴（創作ゼミナールⅠを含めたこれまでの研究活動の各段階について、その履歴を書いてください。）

6月	: アニメーションの技法について調べる。
7月	: デザインを決め、簡略したページを作成する。
8月	: 大まかなレイアウト作成、試作ホームページ完成
9~11月	: ページの内容作成、CSS で見た目の調整、アニメーションを実装。
12月	: 発表資料の作成